

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公開番号】特開 2005-198905 (P2005-198905A)

【公開日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-029

【出願番号】特願 2004-9766 (P2004-9766)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 5/07 (2006.01)**

**A 6 1 B 5/145 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 5/07

A 6 1 B 5/14 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 9 日 (2007.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体内において、体内物質と特異的に反応する反応物質を 1 種類以上固定した反応面を具備したカプセル型医療装置と、

被検体外で前記反応面に反応した物質もしくは反応の形跡を検出及び解析するための解析装置と、

を具備したことを特徴とする病変検出システム。

【請求項 2】

前記反応物質が、腫瘍マーカーや血液成分等の抗原と特異的に反応する抗体であることを特徴とする請求項 1 に記載の病変検出システム。

【請求項 3】

前記反応面は、前記カプセル型医療装置の外表面に設けてあることを特徴とする請求項 1 に記載の病変検出システム。

【請求項 4】

前記カプセル型医療装置は、撮像素子と結像光学系と画像蓄積手段とを備えることを特徴とする請求項 3 に記載の病変検出システム。

【請求項 5】

前記反応面が、前記カプセル型医療装置に対して取り外し可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の病変検出システム。

【請求項 6】

前記反応面に固定された抗体が磁性抗体からなることを特徴とする請求項 1 に記載の病変検出システム。

【請求項 7】

前記カプセル型医療装置内に、前記磁性抗体を固定するための磁性物質を備えたことを特徴とする請求項 6 に記載の病変検出システム。

【請求項 8】

前記反応面と前記カプセル型医療装置の外表面の間に、前記反応面の露出をコントロールするための露出制御部を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の病変検出システム

。

【請求項 9】

前記カプセル型医療装置は、前記露出制御部が、開閉可能な蓋であることを特徴とする請求項 8 に記載の病変検出システム。

【請求項 10】

前記開閉可能な蓋をカプセル外表面に複数個設けたことを特徴とする請求項 9 に記載の病変検出システム。

【請求項 11】

前記カプセル型医療装置は、前記露出制御部が、前記カプセル型医療装置の外装に設けられた開口部と、前記外装と前記反応面を相対的に移動する駆動部とを有することを特徴とする請求項 8 に記載の病変検出システム。

【請求項 12】

前記反応面に時間表示手段を設けたことを特徴とする請求項 11 に記載の病変検出システム。

【請求項 13】

前記カプセル型医療装置は、撮像素子と結像光学系と画像蓄積手段とを備えることを特徴とする請求項 8 に記載の病変検出システム。

【請求項 14】

前記撮像素子は、前記露出制御部に連動して撮像を行うことを特徴とする請求項 13 に記載の病変検出システム。

【請求項 15】

前記撮像素子は、定期的に撮像を行うことを特徴とする請求項 14 に記載の病変検出システム。

【請求項 16】

前記反応面と前記カプセル型医療装置の外表面の間に、体液を濾過するための濾過部を具備したことを特徴とする請求項 1 に記載の病変検出システム。

【請求項 17】

前記カプセル型医療装置は、前記反応面を体液との反応後に洗浄するための洗浄手段を具備したことを特徴とする請求項 8 に記載の病変検出システム。

【請求項 18】

前記カプセル型医療装置は、体液を吸入する吸入手段と体液を排出する排出手段の少なくとも、いずれか一方を有することを特徴とする請求項 8 に記載の病変検出システム。

【請求項 19】

前記反応面のうち、前記露出制御部において露出されていない部分を保存液で満たす保存手段を設けたことを特徴とする請求項 8 に記載の病変検出システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の病変検出システムは、被検体内において、体内物質と特異的に反応する反応物質を 1 種類以上固定した反応面を具備したカプセル型医療装置と、被検体外で前記反応面に反応した物質もしくは反応の形跡を検出及び解析するための解析装置と、を具備したことを特徴とする。